

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご意見をお寄せ下さい。

南恵子事務所
3790-1523



日本共産党品川区議会議員 南恵子事務所 八潮5-12-65-503

区議団 e-mail info@jcp-shinagawa.com

住宅耐震診断ひろがる 第4定に補正予算

地域限定から区全域に、非木造住宅とマンション、耐震シェルターにも助成

11月21日から始まる第4回定例区議会に、耐震診断助成を拡大する補正予算案が提案されます。日本共産党区議団が1年前に条例提案した内容に沿ったものだけに、「ヤッター」という気持ちです。

木造住宅・住宅密集地域に限定だったのが区内全域に広がる

日本共産党は、昨年の第4回定例区議会で住宅耐震診断の助成対象を広げるよう求める条例提案をしました。ちょうど1年前のことです。

予想される大震災への備えは住宅密集地域だけでいいはずがないので、①対象地域を限定するのではなく全域に広げること、②木造住宅だけでなくマンションにも拡大すること、③助成額を増額することなどです。

今回の補正予算は、我が党の提案内容を取り入れたもので、区民の命を守る立場から見ると大きな前進です。

具体的な内容を紹介します。

- i 木造住宅耐震改修助成の対象を追加、
- ii 啓発のための経費、
- iii 非木造住宅・マンションの耐震診断、
- iv アドバイザー派遣、
- v 耐震シェルター等設置助

成などです。

予算額は1056万円余、財源は財政調整交付金と国庫補助金です。

11月26日の建設委員会で審査します

この補正予算案は、11月26日の建設委員会で審査します。関心をお持ちのみなさん、傍聴にお出ください。建設委員会は午前10時から始まります。

「自分の財産は自分で守れ」から大きく前進

かつて品川区長は、耐震診断助成などを求める我が党の質問に、「自分の財産は自分で守れ」と言い放ちました。くり返し取り上げてきたことを振り返ると、ここまで前進できたと感慨もひとしおです。

また、各地で起きている大地震で被災した方たちの厳しい実態が、品川区に対策の必要性を迫り実現させていく大きな力になっているのではないのでしょうか。

出産祝い金条例

また提案します

2年前に続き、今回の定例会でまた、条例提案をします。

内容は、出産祝い金の支給を実現させる提案です。

条例案をつくるに当たって、区内と近隣の医療機関（分娩できる設備のあるところ）を調べましたが、一週間程度の入院で標準の分娩の場合、42万円から60万円と幅がありました。これだけの額を用意することはけっこう大変です。

今回の条例提案で、ぜひ実現させたいと思います。みなさんのご意見をお寄せください。

ご意見はこちらへ
南恵子事務所
TEL (3790) 1523

海外調査 今年度は見送りに

自民党と民主党議員の議員だけで行っていた海外調査、今年度の実施はしないことになりました。

自民・公明・民主 来年度の実施を想定して、予算要求をすることになりました。

日本共産党は、予算要望をすることにも反対をしました。

子そだて支援に全力

今回と前回の提案内容は、少し違います。

前は、祝い金の支給額を5万円にしましたが、今回は15万円です。

15万円にした理由は、国民健康保険からも社会保険からも出産に際しては、出産育児一時金として35万円が給付されます。実際の分娩費用を50万円と設定して、その差額を祝い金として支給するという考え方で条例をつくりました。

他区でも出産祝い金制度があります

準備に他区の状況を聞く中で、隣の港区は同じような考え方ですでに実施していることがわかりました。

また、中央区は、3万円相当の区内買物券、江東区は、第2子以降出産時に2万円相当の区内買物券、渋谷区は、妊娠時に5万円の助成、練馬区は、第3子出産時に20万円の祝い金を助成しています。

どこも、経済的な子そだて支援策を積極的にとっています。

品川区民も、経済的支援を強く願っています（区のアンケートへの回答では5位）ので、ぜひ、実現させたいと思います。

その他の支援策も取り上げています

無料妊婦検診、認証保育園の保育料助成、出産の医療機関や医師確保の充実など、多岐にわたった質問にも取り組んでいます。

第4回定例会 一般質問のお知らせ

11月21日(水) 午後1時～ 安藤泰作議員

- ①基本構想について、
- ②障害者の応益負担撤回を
- ③大井町周辺のまちづくり

11月22日(木) 午前10時半～ 菊地貞二議員

- ①学校統廃合問題、
- ②すまいるスクールについて、
- ③区営住宅の建設を

